

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立開成小学校

4月から5月にかけて、文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童・生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童・生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力と学習状況の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

調査期日 令和8年4月23日（木）

（注）質問調査については、オンライン方式（CBT方式）のため、調査日を分散して実施

調査の対象学年 小学校第6学年

調査の内容

（1）教科に関する調査

国語、算数

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
調査問題では、上記①と②を一体的に問うている。

（2）質問調査（1人1台端末を用いたCBT方式）

児童生徒に対する質問	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校に対する質問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

教科に関する調査結果及び考察について

・全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に、国語、算数・数学、英語について実施されています。

・また、調査問題は、各教科の一部の内容について出題されているものであり、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」です。

したがって、調査結果を見る際には、この点をご理解いただいた上で、ご覧ください。

質問
調査

佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

《質問領域：主体的・対話的で深い学び》

（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

質問 番号	質問事項	本校 (%)	全国 (%)
39	前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	83.4	77.6
42	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	88.1	85.7
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	90.5	91.4

本校の調査結果 ※◎（強み）、●（課題）

◎課題解決に向けて、自ら進んで学習に取り組むことができる

◎学習の見通しをもって取り組むことができる

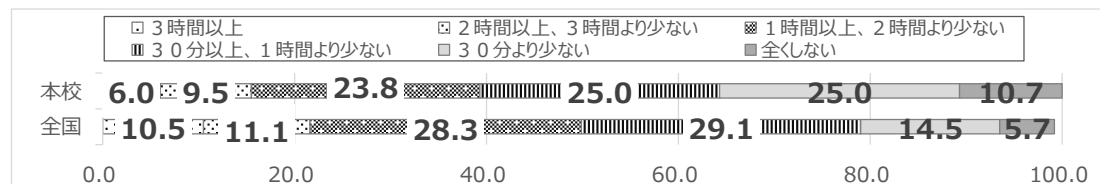
●困難な場面に直面したときに、自分で学び方を考えるなどの対応力

●家庭での学習の充実

《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》

22	分からないことやわくわく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	78.6	79.4
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	86.9	78.4

23 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日) 1日当たりどれくらいの時間勉強していますか



《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》

8	自分には、よいところがあると思う	88.1	85.6
10	将来の夢や目標を持っている	82.1	81.8
15	学校に行くのは楽しいと思う	88.1	85.7
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	89.3	92.5

本校の調査結果 ※◎（強み）、●課題

◎自己肯定感が高い

◎学校に行くことを楽しいと感じ、地域をよりよくしたいという気持ちを持っている

●学校生活の中で幸福感を感じられる場面が少ないと感じている

《質問領域：向社会性》

14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.0	95.8
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	84.5	80.1

調査結果を受けて

【学校では】

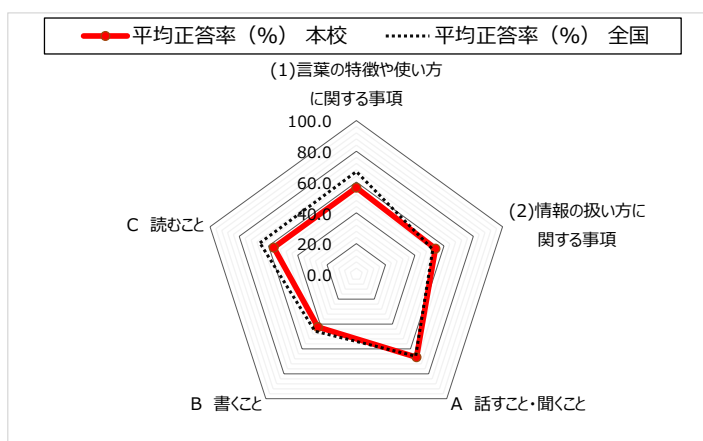
- 自己調整力が高まるよう、学習の中で多様な学び方を提示し、自分に合った問題解決の場を設定していきます。
- 学級活動の充実を図り、相手だけでなく、自分の良さを認めることができる学級経営を目指します。
- 「ほかほかの木」等の取組を通して、友達のよさやがんばりに目を向けさせ、認め、支え合う学校作りを進めます。全職員で、ほめ、励ます指導・支援を続けていきます。

【ご家庭では】

- 家庭学習の時間や内容を示した「家庭学習の手引き」を今一度ご確認いただき、家庭学習の充実を図っていただきたいと思います。お子さんが、自分なりに目標を達成できた時は、ほめることで意識が更に高まると思います。
- 基本的な生活習慣の確立やテレビ・ゲームの時間を決めるなど、家庭でのルール作りにもご協力ください。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容		平均正答率 (%)	
		本校	全国
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	56.4	66.8
	(2)情報の扱い方に 関する事項	54.1	52.3
思考力、 判断力、 表現力 等	A 話すこと・聞くこと	66.7	65.8
	B 書くこと	42.4	45.7
	C 読むこと	56.4	65.9



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	61.9	61.9
短答式	44.2	62.6
記述式	43.0	54.9

結果 ※◎ (強み)、●課題

- ◎ 資料を活用した情報の読み取り
- ◎ 理由や事例などの情報と情報との関係についての理解
- 漢字の書き取り

《正答率の高い問題》【強み】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
1二 (2)	資料を活用するなどして、自分のが伝わるように表現を工夫できるかどうかをみる	65.1	63.2
2二	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる	53.5	48.9

《正答率の低い問題》【課題】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
2三イ	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	17.4	45.2
3三 (2)	文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	60.5	76.4

調査結果を受けて

【学校では】

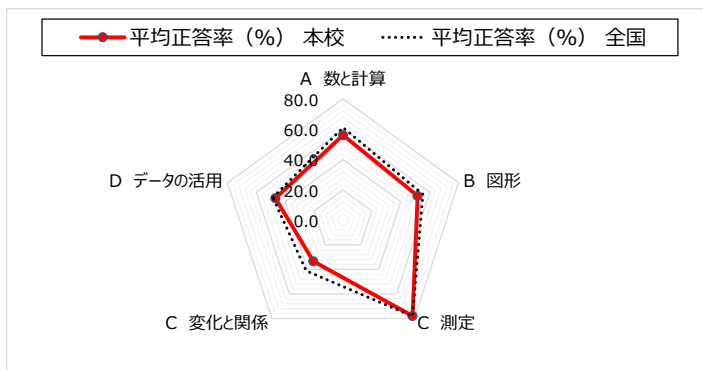
- 日頃から既習漢字を用いて文章を書くことを徹底し、小テストを継続的に行っていきます。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながらかく機会を増やします。
- 様々な教科の学習で、文字数やキーワードを入れるなどの条件に合わせて書いたり、必要な情報と関連付けて自分の考えをまとめたりする活動を行います。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしましょう。繰り返し音読をすることで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしましょう。文学・科学・歴史・地理……いろいろな本を読み、様々な表現や用語に触れることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。図書館や書店に定期的に行くことも、読書習慣を身に付ける上でおすすめです。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本校	全国
A 数と計算	56.1	61.1
B 図形	51.7	55.3
C 測定	77.9	78.1
C 変化と関係	33.3	41.1
D データの活用	46.8	48.6



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	49.3	56.0
短答式	55.8	59.7
記述式	47.7	48.5

結果 ※◎ (強み)、●課題

◎表(データ)から情報を読み取る

●四則計算、基礎基本

●分数の意味理解

《正答率の高い問題》【強み】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
4(1)	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる	64.0	56.2
1(2)	直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる	67.4	63.0

《正答率の低い問題》【課題】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3(4)	単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる	54.7	68.1
1(1)	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる	61.6	72.7

調査結果を受けて

【学校では】

- スキルタイムや宿題(自主学習)を通して、計算の基礎・基本を定期的に行い、計算力の向上を図ります。
- 問題の答えを求めるだけでなく、式の意味を考えさせたり、自分で問題を作らせたりしながら、式・絵や図・数直線等を関連させて考える学習を取り入れます。

【ご家庭では】

- お子さんの学習について、宿題プリントやドリル等をしている様子やテストをご覧になって、励ましや称賛の言葉をたくさんかけてください。
- 算数を好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と感じる経験をさせることが有効です。「お菓子分けでわり算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」等、身の回りには算数の学習を使えるものがたくさんあります。